

11/16

eシフトシンポジウム

# どう計算しても原発は高い

～地域から始める原発ゼロノミクス～



ご挨拶

「原発ゼロノミクスとは」 eシフト  
むらかみ もりまさ  
邑上守正氏 (武蔵野市長・脱原発を目指す首長会議)

講演

「経営者として考える原発ゼロノミクス」  
つよし  
吉原毅氏 (城南信用金庫理事長)

講演

「どう計算しても原発は高い」  
はじめ  
三上元氏 (静岡県湖西市市長・脱原発をめざす首長会議 世話人)

<休憩>

ディスカッション

吉原毅氏、三上元氏  
コーディネーター：上原公子氏 (脱原発をめざす首長会議 事務局 局長)

事例紹介

地域から始める原発ゼロノミクス～取組み紹介  
こだいらソーラー (小平市) ・む〜ソーラー (武蔵野市)  
みたか発電 (三鷹市) ・学生団体の取組み (一橋大学、国際基督教大学)

おまけ

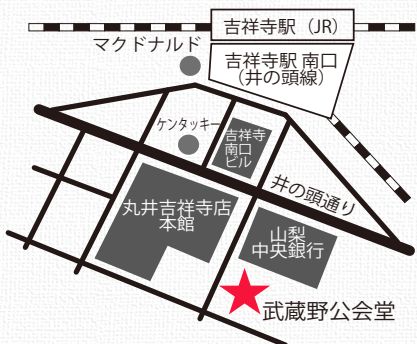
吉原毅氏	三上元氏	上原公子氏	ゼロノミクマ

原発を止めると経済に負担が、といわれますが、本当にそうでしょうか？  
バックエンドコスト、使用済み核燃料の10万年の保管料や事故炉の廃炉コスト、事故賠償保険料などを考慮すれば、  
原発のコストはkWhあたり100円以上にもなりうる。元経営コンサルタントで湖西市市長の三上元氏は、それを試算して可視化しました。また経営者の視点から、原発、そして原発のない社会をどう考えるか、城南信用金庫理事長の吉原毅氏が語ります。「原発ゼロノミクス」は、原発を維持するための経済システムからの脱却をめざす新しい動きです。国の政策が原発推進に戻ろうとするなか、すでに各地で、市民や地域の企業、自治体などが主体となって、多数のプロジェクトが始まっています。大規模集中から、小規模分散の地域のエネルギーへ世界で急速に進もうとしているパラダイム転換を、地域の視点から考えます。

2013年11月16日(土) 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場：武蔵野公会堂 ホール (定員 350名)

吉祥寺駅南口から徒歩2分



参加費 : 1,000円、学生は500円  
お申込み : eシフトウェブサイト (<http://e-shift.org>) よりお申込み下さい。(当日参加可)  
もしくはお名前、人数、ご連絡先をFAXでお送り下さい。宛先: 03-6907-7219 (FoE Japan)  
主催 : eシフト (脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)

●後援: 脱原発をめざす首長会議 ●賛同団体: オレンジロード、原発のない暮らし@ちょうふ、さよなら原発! 小金井パレード、さよなら原発! 三鷹アクション、脱原発と平和を武蔵野市からすすめる市民の会、むさしの市民平和のつどい実行委員会、フクシマを思う実行委員会、武蔵野生活クラブ運動グループ地域協議会、武蔵野生活者ネットワーク、NPO 法人ごみ環境ビジョン21、NPO 法人 中野・環境市民の会、  
●協力: パタゴニア日本支社 ●お問合せ: eシフト事務局 (国際環境 NGO FoE Japan 内: 吉田) 03-6907-7217 info@e-shift.org